

INTEGRATED REPORTING <IR>

IIRC ニュースレター 7月号

市場ニーズに合う <統合報告>トレーニング 開発へのご協力を

IIRC では本日、フィードバックのための「統合報告 Competence Matrix」初稿をリリースする。同マトリックスの狙いは、「統合報告」を効果的に実践するのに不可欠なスキルと経験について、市場に明確な指針を提供することである。IIRC がこれまで設定してきたコンピタンスの領域は、すでに報告に取り組んでいる組織が有する専門的なスキルの上に構築されていることは明白だが、IIRC が必要不可欠と考えている焦点項目に重要な変化が生じていることも視野に入れつつ、単に効果的な統合報告を目指すだけでなく、組織の目的や戦略の核心において価値創造を行えるようにこのマトリックスを開発した。

IIRC では、本プロジェクトに臨むにあたり、市場主導型のアプローチを採用し、現地の慣行や要件に合わせて異なるコンテキストで適用が可能となるグローバルな提案を目指している。

- **アウトカムベース**：IIRC は、必要な学習のアウトカムを設定し、「原則ベース」のアプローチを採用している。これは、数多くの機関や専門職の人びとが求めているアプローチである。同時に、「国際統合報告フレームワーク」自体に採用されている原則ベースのアプローチとも合致している。したがって、コンピタンス・マトリックスを利用される方は、「統合報告」実施に向けたプロセスを通じ、ステップ・バイ・ステップの指針が提供されることは期待しないでいただきたい。IIRC は、「統合

レポートウォッチ：

保証・アドバイザーファームである Nkonki は南アフリカの国営企業による「統合報告」に対する 4 回目の年次レビュー調査結果をリリースする。

そして「統合報告ビジネス・ネットワーク」に参加している Transnet が、その Integrated Reporting Award を受賞。

「統合報告ビジネス・ネットワーク」に参加している Diesel & Motor Engineering は、Sri Lanka's Excellence in Institute of Certified Management Accountants による Integrated Reporting Awards 2015 を受賞。

あなたの統合報告書、

報告」を採用する各組織が置かれている個々の状況を参照すること、および市場における先進的な実践から学ぶことによってこそ、最良のプロセスを実現できると一貫して信じているからである。

- **統合思考の埋め込み:** これまで、組織にとって要件となるコンピタンスが「統合報告」のこうした重要な側面を適切にカバーできるよう強化すべく、統合思考を強調してきた。事実、マトリックスが提案しているコンピタンスの4領域のうち3領域が、報告に関するより広汎な側面に関連しているといえる。
- **ガバナンスとのリンク:** IIRC では、マトリックスの提案により、コーポレート・ガバナンスと報告の関係をより緊密なものとするよう目指している。特に、組織のリーダーたちと取締役会の役割を採りあげ、初めて「統合報告」に取り組む人たち、とりわけ、取締役および組織の監督責任者に関連するマトリックスに、「入門編」的な学習成果例を掲載している。
- **全体ビジネスの視点:** 報告プロセスは重要であり、統合報告自体の準備に関連する学習のアウトカムをそれに含めてきたが、IIRC では、統合報告実践者がプロセスのみに焦点をしばるべきだとは考えていない。「統合報告」要件を、組織全体の戦略およびその事業範囲にリンクするためには、より広範な見通しが必要となる。したがって、IIRC は、変革に向けた管理とリーダーシップといったコンピタンスに関する領域、すなわち、組織の内部と外部における広範囲な相互作用に参与する「ビジネス全体の報告」との関連で不可欠な領域を含めることにした。

「統合報告」コンピタンス・マトリックスの草稿版は、2015年9月16日まで、閲覧およびフィードバックなどの各種利用が可能となっている。IIRC では、「統合報告 Competence Matrix」および関連資料を読んでいただき、オンライン調査を使用して IIRC にフィードバックをお寄せいただくよう、全ステークホルダーにお願いしている。

このコンピタンス・マトリックスは、広範な国や組織から選抜した アドバイザリー・グループ の利益となるよう、IIRC が開発した。IIRC では、コンピタンス・マトリックス開発のため、教育の専門知識を提供する ACCA の役割についても認めている。

またはあなたの組織の「統合報告」を奨励するために発刊したリソースについて我々に知らせるための Email は info@theiirc.org です。

新しいリソース:

PwC は Integrated Reporting Implementation Guide をリリースする

そして

CPA Canada は 「Evolving corporate reporting landscape: Integrated reporting, sustainability reporting and ESG reporting」 をリリースする。

ブログ:

IIRC Germany のリージョンリードである Matthias Schmidt による 「The adoption of the EU Non-Financial Directive in Germany」

「統合報告」の経済的利益を、 最後発国スリランカを 通じて検証

スリランカの首相は、統合報告を承認した。同首相は、Daily Financial Times に寄稿し、そのなかで、「統合報告」の採用により、海外投資と地元の民間投資の両面で、スリランカの魅力を強化できたと語っている。Hon Ranil Wickremesinghe 首相は、この記事の中で次のように記している。「統合報告の学習と採用は、間違いなく企業部門の利益となり、投資家やステークホルダーへの報告書はより有意義なものになるはずです。これにより、外国からの直接投資や現地の民間投資を考えている皆さんにとって、わが国はより魅力的な投資先となるはずです。」

同首相はこれに先立ち、「Integrated Reporting Awards 2015」において、Institute of Certified Management Accountants of Sri Lanka's Excellence (スリランカ公認管理会計士協会) について記しており、この表彰式は、インド、バングラデシュ、パキスタンを含む地域全体から参加者と講演者が出席する重要なイベントとなった。

Institute of Certified Management Accountants (公認管理会計士協会) が主催するこのイベントは、スリランカの Maithripala Sirisena 大統領による講演とともに開会した。大統領はその際に、スリランカの繁栄のために、金融の規律化の必要性を強調しつつ、会計士は不正や汚職を減らすために、果たすべき重要な役割を担っているとの所信を表明した。カンファレンスに先立ち、大統領は以下のように記している。「スリランカが、『統合報告によるビジネスの回復』に関わる今回のカンファレンスから多大な利益を得られることに疑う余地はありません。これはわが国の企業家たちにとって、報告分野のイノベーションに追随してゆくための方法が明解に示される、素晴らしいプラットフォームとなることでしょう。」

大統領はさらにこう続ける。「私は、International Federation of Accountants (IFAC、国際会計士連盟)

の会長や、国際統合報告評議会の Director、および南アフリカから参加する専門家等の、統合報告における重要な権威である皆様のご出席により、同プログラムは、非常に活気に満ちた生産的なイベントになると確信しています。」

International Federation of Accountants (国際会計士連盟) の President である Olivia Kirtly 氏は、同イベントの基調講演で、「IFAC は統合報告を長期にわたり支援してきた輝かしい歴史を持っています」と語り、こう続けた。「統合報告の進化により、会計士の専門性を、組織的な強みと経済的成功に導くのに役立つでしょう。」

「Integrated Reporting Award」の優秀賞は、「統合報告ビジネス・ネットワーク」参加企業で、「統合報告」の多年にわたる支援企業でもある Diesel & Motor Engineering 社が受賞した。同社は、「フレームワーク」開発に際し、トライアルとフィードバックを実施する「IIRC パイロットプログラム」への参加を通じ、「国際統合報告フレームワーク」の開発に貢献した。

皆様を 「統合報告」への旅に誘う インサイドストーリー

Black Sun と IIRC は本日、「統合報告」への移行を進めている組織のインサイドストーリーを希望する組織に向け、新たな資料を公開した。2014 年、Black Sun と IIRC は、「統合報告」を採用している回答者の 92% が統合報告によって価値創造に対する理解が促進されたと回答し、87% が財務資本の提供者による組織の戦略への理解が深まったと答えているという調査結果を発表した。そして今回は、そうした調査の背景にあるストーリーを、企業報告分野の先進組織へのインタビューを通して発表しようとしている。

同資料には、世界 11 カ国から 27 の企業・組織を選び実施した深みのあるインタビュー記事とともに、さまざまな事業部門や組織のタイプが共感できるストーリーが掲載されて

いる。それぞれのストーリーは、独自の理論的根拠や課題、利点を含んでいる点でユニークであり、初めての統合レポートを制作中の組織から、「統合報告」に向け順調な移行途上であり、すでに何冊もの統合レポートを発行済みの組織等へのインタビューも含まれている。

「統合報告」への旅に出発した組織からのメッセージとは、組織内の異なるチーム間のよりよい内部コラボレーションを確立し、部門ごとの閉鎖的なサイロ思考から脱却し、より生産的な環境と効率性の向上を実現することこそが重要である、ということだ。また、組織の重要問題にリンクした KPI の精緻化こそが、パフォーマンス・マネジメントの向上につながるとの指摘もある。同報告書は、「『統合報告』を計画している組織に向けたひとつの一般的なアドバイスとは、まず始めてみる、ということです。会社が統合思考に向かって動き出せば、自ずと『統合報告』がともなっていくはず」と述べている。

企業報告分野の先進組織に学びたい人たちに向け、IIRC のウェブサイト上でこうしたインサイドストーリーを下記リンクにて提供中。

integratedreporting.org/resources

IIRC の これまでの取り組みを 見逃してしまった皆様へ・・・

IIRC および多くのパートナー機関はこれまで、「統合報告」の実践を支援するための数多くのプログラムや資料を開発してきた。例えば、「[統合報告ネットワーク](#)」では、「統合報告」の原則と実践を採用している先駆的な組織を一堂に集めており、「[統合報告 Example Database](#)」では、「統合報告」に取り組んでいる企業の事例を世界中から収集・掲示している。

また、「[コーポレート・レポート・ダイアログ](#)」を通じ、

企業報告の分野で著名な 8 つの組織が協働で [Landscape Map](#) を発表し、その中で、統合報告のレンズを通して 8 組織それぞれのフレームワークや基準、関連要件等を一望で比較対照できる資料を提供している。

現在利用可能なその他の資料は以下の通り。

- [「Creating Value Series \(価値創造シリーズ\)」](#)・・・
「統合報告」に関するトレンド、研究調査、市場の意見、ケーススタディ等を参照可能
- [「Tomorrow's Business Success \(将来の事業の成功\)」](#)・・・「統合報告」が事業の将来の成功にどのように貢献するかを検討できる Chairmen、CEO、CFO 向けガイド
- [「Building the Business Case \(事業事例の構築\)」](#)
および [「『統合報告』の利点の実現」](#)・・・「統合報告」への取り組みが組織に与えたインパクトの報告



Website



Twitter



LinkedIn



YouTube

Contact: juliet.markham@theiirc.org

Copyright © 2015 International Integrated Reporting Council, All rights reserved.
[unsubscribe from this list](#) [update subscription preferences](#)

